

病害虫防除技術情報第16号

平成23年3月11日

三重県病害虫防除所

カンキツかいよう病の病斑が、葉や枝で目立っています！

- 1 対象作物 中晩柑類かんきつ（甘夏、カラ、セミノール等）
- 2 病害虫名 カンキツかいよう病
- 3 発生状況 やや多い

昨年の6月以降多発しており、本年3月の巡回調査においても中晩柑類かんきつでの越冬病斑が、過去4年間と比べて多い状況でした（表）。発病程度の高かった葉は落ちてしまっていますが、発生が多かった園地では枝にも越冬病斑が観察されます。

表 中晩柑類かんきつ旧葉でのかいよう病の発病状況

調査時期	発病葉率	発病度
2011年3月	23.0%	5.7
過去4年間の3月平均値	8.4%	2.2

各調査地点50葉調査の平均値。

調査地点数は2011年及び2010年は6地点で、それ以前は4地点。

4 防除上の注意事項

- (1) 罹病葉及び罹病枝は可能な限り取り除き、園外に持ち出して適切に処分してください。
- (2) 風当たりの強いところでは、風雨による傷を回避するために、防風網等を設置してください。
- (3) 発芽期の農薬散布は薬害を生じる恐れがあるので、発芽前に防除してください。
- (4) 農薬は収穫時期に注意し、ラベルの表示を確認して正しく使用してください。なお、ボルドー剤を散布する場合は、使用上の注意事項に十分注意してください。